
本庄市
子ども・若者意識調査
結果報告書

令和6年5月
本庄市

目次

第1部 調査の概要	1
調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査対象及び調査方法	3
3. 配布数及び回収結果	3
本調査の基本的な事項	3
1. 数値の基本的な取り扱いについて	3
第2部 子ども・若者意識調査	5
子ども・若者意識調査	7
(1) 居住地区	7
(2) 年齢	7
(3) 性別	8
(4) 同居している人	8
(5) 同居の人数	9
(6) 最後に卒業した学校	9
(7) 中学・高校で学校のクラブ活動参加の有無	10
(8) 中学・高校生の頃の学校以外のクラブ活動参加の有無	10
(9) 小・中学校の頃に学校で経験したこと	11
(10) 小・中学校の頃に家庭で経験したこと	12
(11) 学校生活について	13
(12) 平日の放課後や仕事の後など一緒に過ごすことが一番多い人	14
(13) 平日の放課後や仕事の後一番多く過ごす場所	15
(14) 休日一緒に過ごすことが一番多い人	16
(15) 休日一番多く過ごす場所	17
(16) 一番ほっとできる場所	18
(17) 相談などを気軽に話せる人は誰（どこ）か	19
(18) 悩みがあるとき相談できる機関等を知っているか	20
(19) 本人に当てはまること	21
(20) 家族に当てはまること	22
(21) ふだん自宅にいるときによくしていること	22
(22) 授業や仕事以外でのインターネット利用_平日	23
(23) 授業や仕事以外でのインターネット利用_休日	23
(24) ふだん利用しているソーシャルメディアや通信手段など	24
(25) ふだんの外出状況であてはまるもの	25
(26) その状態はどれくらい続いているか	25
(27) 現在の状態になったきっかけ	26
(28) 不登校になった時	26
(29) 受験に失敗した時	27

(30) 人間関係がうまくいかなかった相手	27
(31) 現状について相談したことがある人や機関	28
(32) 現状について誰かに相談したいと思うか	29
(33) どのような人・機関なら相談したいか	29
(34) 相談したくないと思う理由	30
(35) 市が特に取り組むべきこと	31

第 1 部 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「本庄市 第3期子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度から令和11年度まで）を策定するにあたり、本庄市の若者世代の考えや現状及び課題を把握するため、また、本庄市の子育て支援施策や子ども・若者施策検討のための基礎資料とするために実施した。

2. 調査対象及び調査方法

項目	子ども・若者意識調査
調査対象	市内在住の16～39歳の若者世代
配布数	2,000
抽出方法	無作為抽出
調査方法	Web
調査時期	令和6年2月～令和6年3月
調査地域	本庄市全域

3. 配布数及び回収結果

項目	子ども・若者意識調査
配布数	2,000
有効回収数	543
有効回収率	27.15%

本調査の基本的な事項

1. 数値の基本的な取り扱いについて

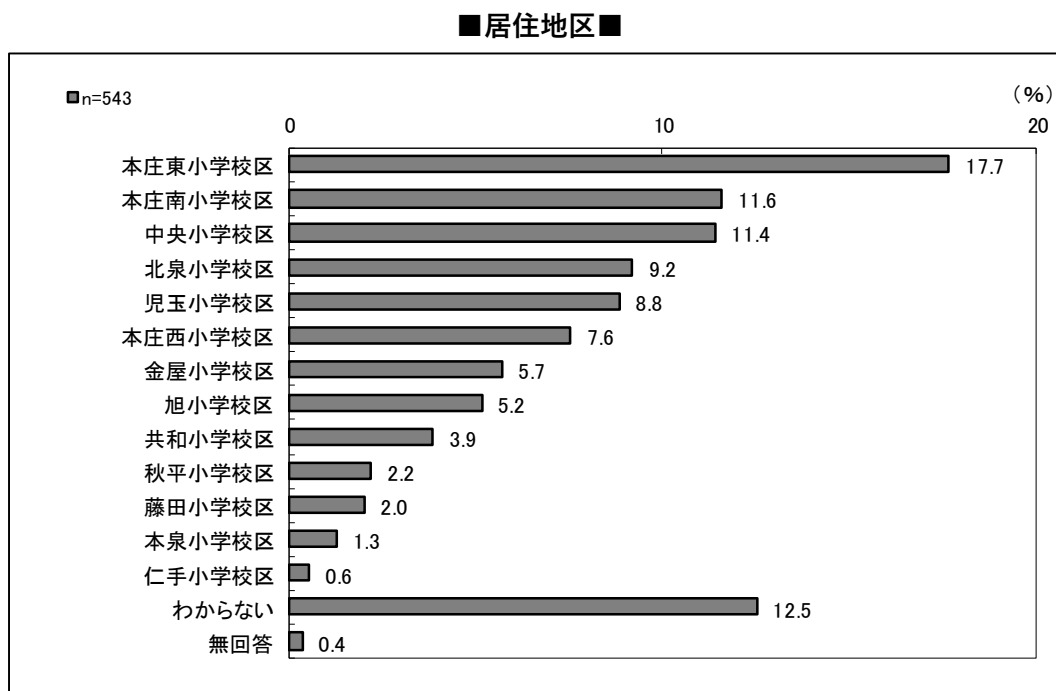
- 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100％を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100％として算出している。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100％を超える場合がある。

第2部 子ども・若者意識調査

子ども・若者意識調査

(1) 居住地区

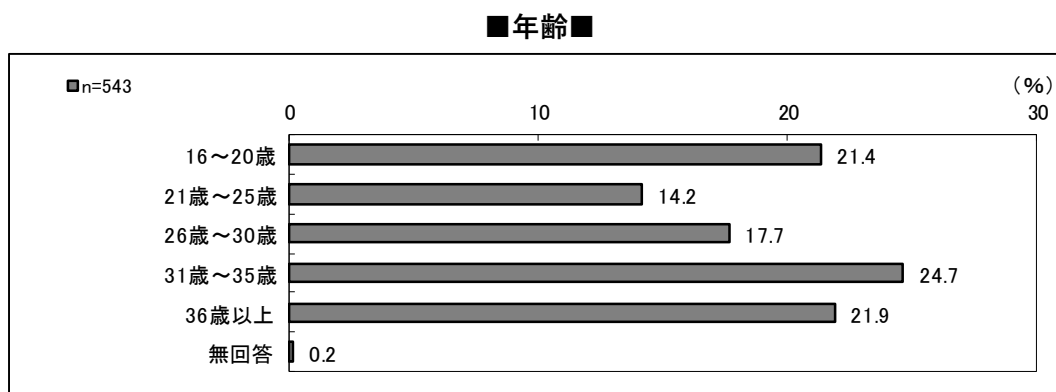
問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。



(2) 年齢

問2 あなたの令和6年2月1日現在の年齢は次のうちどれにあてはまりますか。

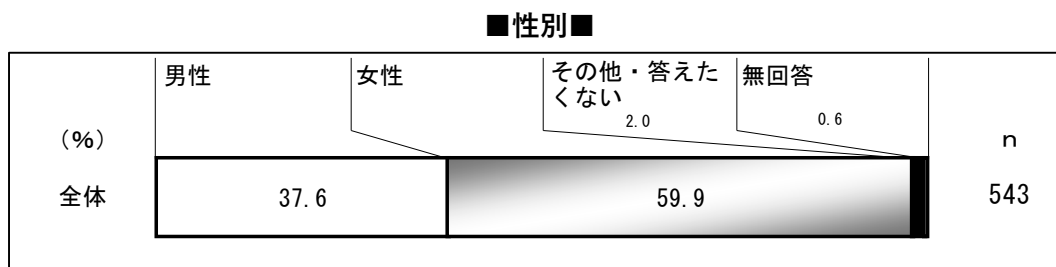
「31歳～35歳」(24.7%)、「36歳以上」(21.9%)、「16～20歳」(21.4%)、「26歳～30歳」(17.7%)、「21歳～25歳」(14.2%)。



(3) 性別

問3 あなたの性別をお答えください。

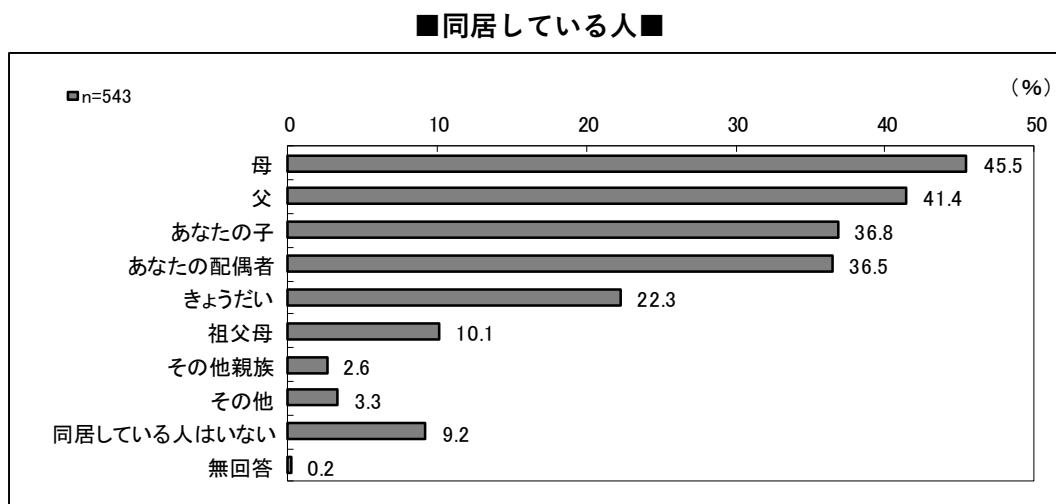
「女性」(59.9%)、「男性」(37.6%)、「その他・答えたくない」(2.0%)。



(4) 同居している人

問4 現在、あなたと同居している人をすべてお答えください。【複数回答】

「母」(45.5%)、「父」(41.4%)、「あなたの子」(36.8%)、「あなたの配偶者」(36.5%)、「きょうだい」(22.3%)、「祖父母」(10.1%)、「その他親族」(2.6%)、「その他」(3.3%)。
「同居している人はいない」は9.2%。



(5) 同居の人数

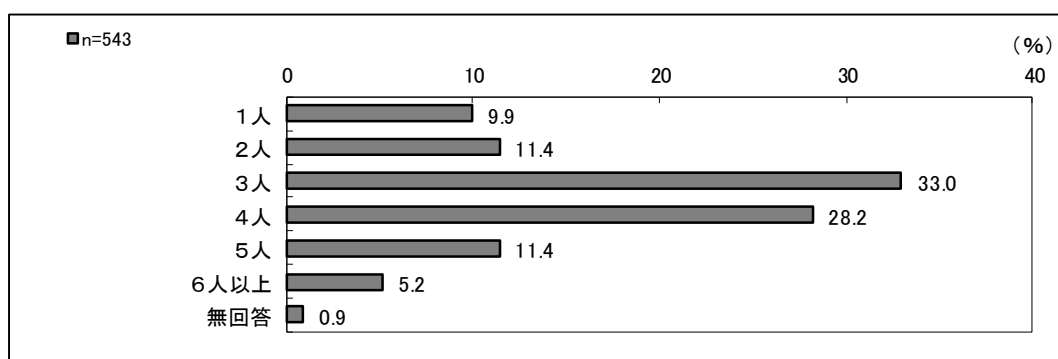
問5 あなたを含めて、同居の家族の人数は次のうちどれにあてはまりますか。



「3人」(33.0%)、「4人」(28.2%)、「2人」(11.4%)、「5人」(11.4%)、「1人」(9.9%)、「6人以上」(5.2%)。

“3人以下”が回答の過半数占める (54.3%)。

■同居の人数■



(6) 最後に卒業した学校

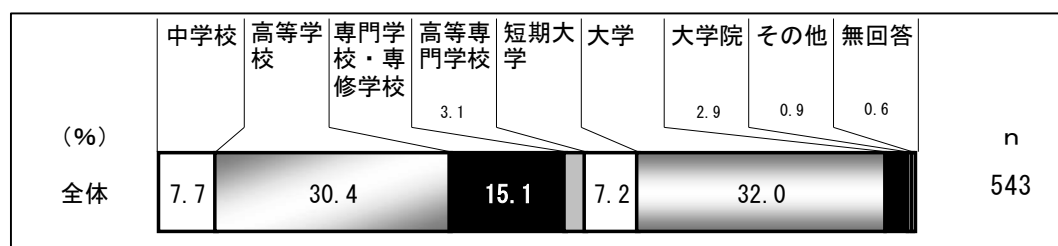
問6 あなたが最後に卒業した学校を教えてください。学生の場合、現在在学している学校の種類を教えてください。



「大学」(32.0%) が最も高い割合を占める。

「高等学校」(30.4%)、「専門学校・専修学校」(15.1%)、「**中学校**」(7.7%)、「短期大学」(7.2%)、「高等専門学校」(3.1%)、「大学院」(2.9%)等がこれに続く。

■最後に卒業した学校■



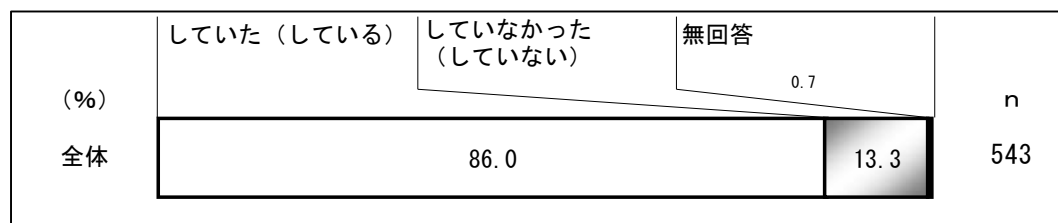
(7) 中学・高校で学校のクラブ活動参加の有無

問7 あなたは、中学・高校生の頃（高校生の方は現在）、学校のクラブ活動に参加していましたか（いますか）。



「していた（している）」(86.0%)、「していなかった（していない）」(13.3%)。

■中学・高校で学校のクラブ活動参加の有無■



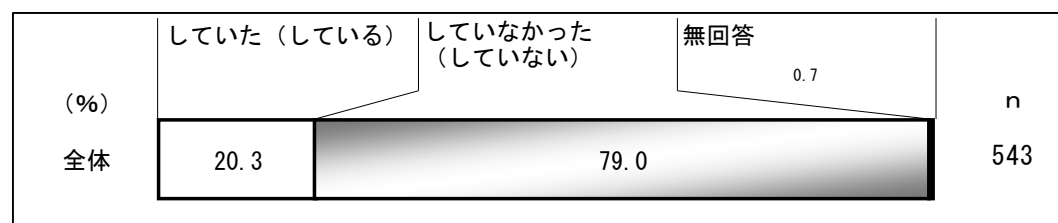
(8) 中学・高校生の頃の学校以外のクラブ活動参加の有無

問8 あなたは、中学・高校生の頃（高校生の方は現在）、学校以外でのクラブ活動に参加（スポーツクラブに通うなど）していましたか（いますか）。



「していなかった（していない）」(79.0%)、「していた（している）」(20.3%)。

■中学・高校生の頃の学校以外のクラブ活動参加の有無■



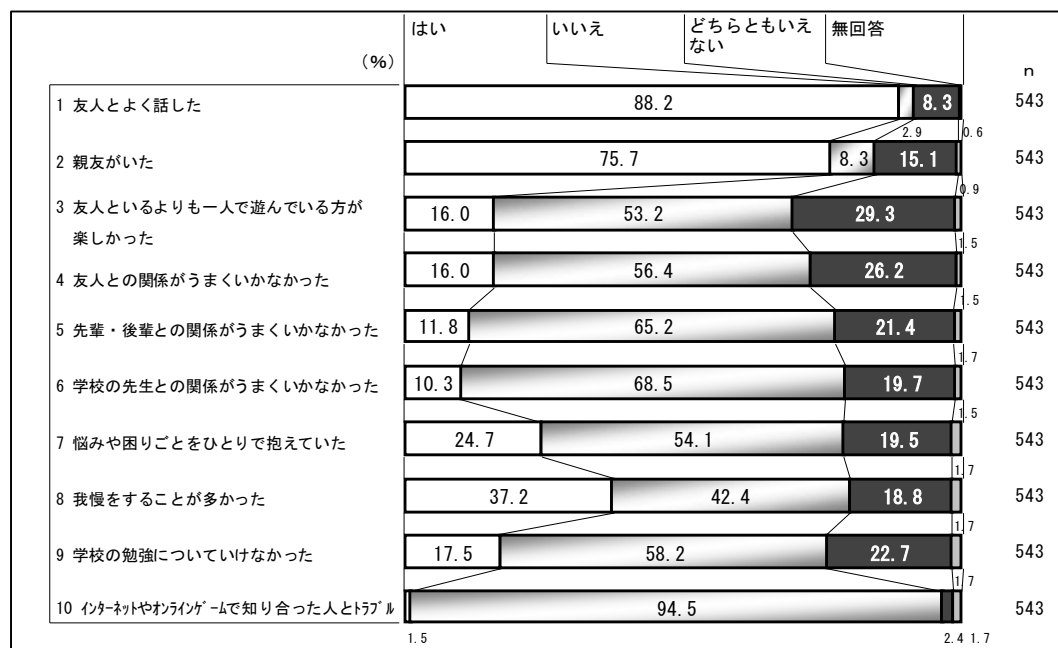
(9) 小・中学校の頃に学校で経験したこと

問9 あなたは、小学校や中学校の頃に、学校で(1)から(10)のようなことを経験したことがありますか。



小・中学校の頃に学校で経験したことについては以下のとおり。

■小・中学校の頃に学校で経験したこと■



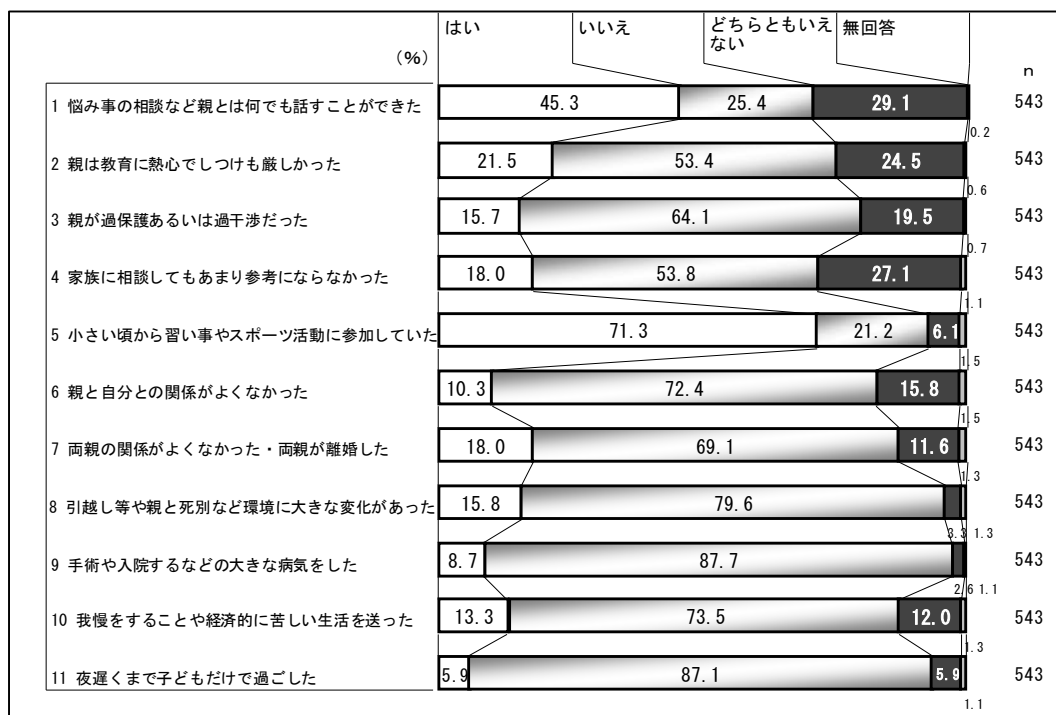
(10) 小・中学校の頃に家庭で経験したこと

問 10 あなたは小学校や中学校の頃、家庭で(1)から(11)のようなことを経験したことがありますか。



小・中学校の頃に家庭で経験したことについては以下のとおり。

■小・中学校の頃に家庭で経験したこと■



(11) 学校生活について

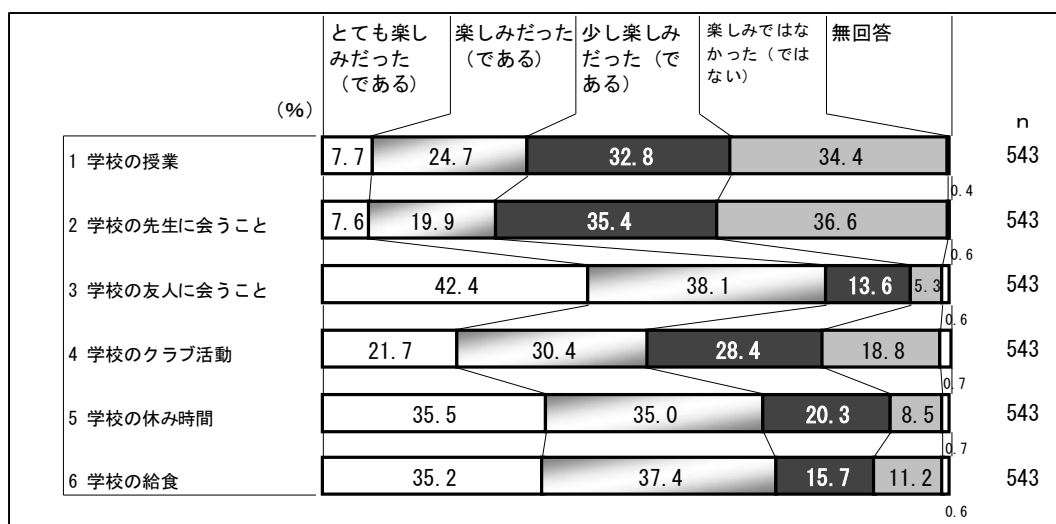
問 11 あなたの中学・高校生時代（高校生の方は現在の）学校生活についておたずねします。
次の(1)～(6)の項目について、もっとも近いものに○をつけてください。



学校生活については以下とおり。

「とても楽しみだった（である）」と「楽しみだった（である）」の合計が高い割合（上位3位）となったのは『学校の友人に会うこと』（80.5%）、『学校の給食』（72.6%）、『学校の休み時間』（70.5%）。

■学校生活について■



(12) 平日の放課後や仕事の後など一緒に過ごすことが一番多い人

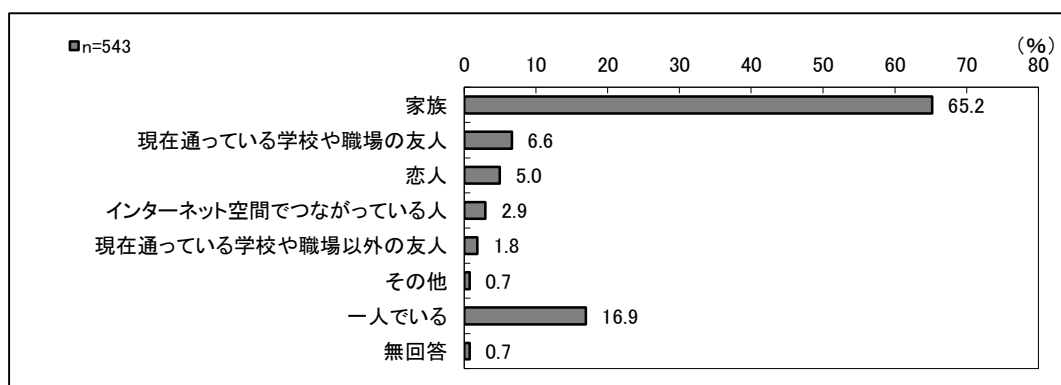
問 12 あなたは、平日の放課後、仕事の後など自由に過ごせる時間は誰と過ごしていますか。



「家族」(65.2%) が最も高い割合を占める。

「一人である」(16.9%)、「現在通っている学校や職場の友人」(6.6%)、「恋人」(5.0%)、「インターネット空間でつながっている人」(2.9%)、「現在通っている学校や職場以外の友人」(1.8%) 等がこれに続く。

■平日の放課後や仕事の後など一緒に過ごすことが一番多い人■



(13) 平日の放課後や仕事の後一番多く過ごす場所

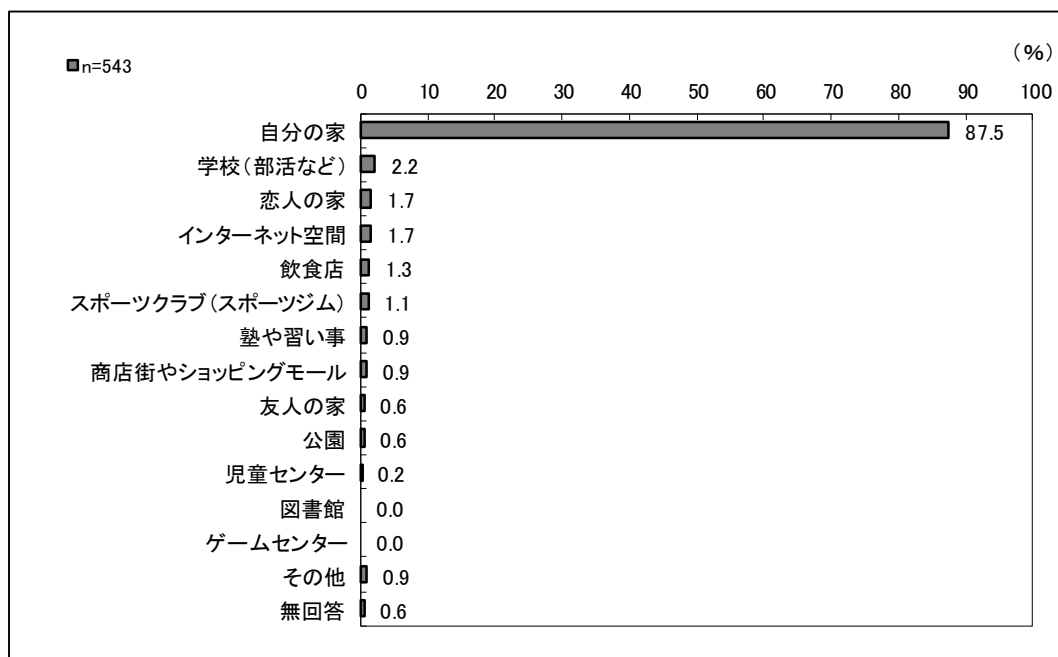
問 13 あなたは、平日の放課後、仕事の後など自由に過ごせる時間はどこで過ごしていますか。



「自分の家」(87.5%)が回答の大半を占める。

「学校(部活など)」(2.2%)、「恋人の家」(1.7%)、「インターネット空間」(1.7%)等がこれに続く。

■平日の放課後や仕事の後一番多く過ごす場所■



(14) 休日一緒に過ごすことが一番多い人

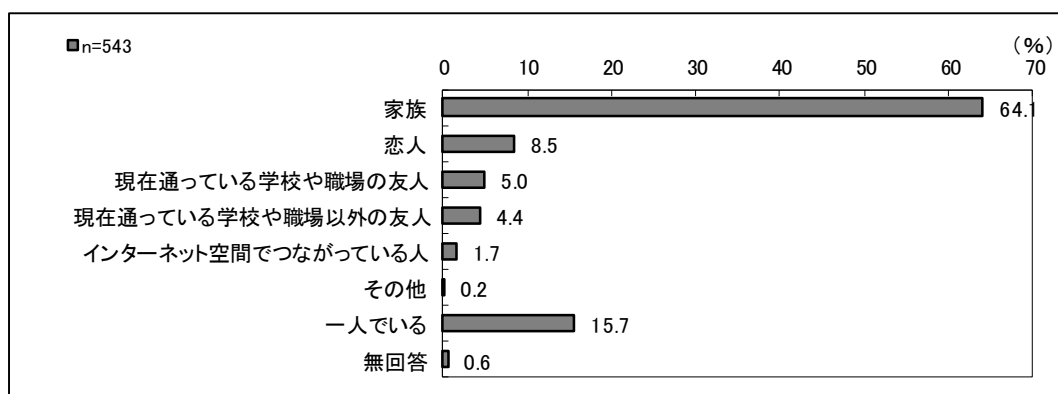
問 14 あなたは、休日は誰と過ごしますか。



「家族」(64.1%) が最も高い割合を占める。

「一人である」(15.7%)、「恋人」(8.5%)、「現在通っている学校や職場の友人」(5.0%)、「現在通っている学校や職場以外の友人」(4.4%)、「インターネット空間でつながっている人」(1.7%) 等がこれに続く。

■休日一緒に過ごすことが一番多い人■



(15) 休日一番多く過ごす場所

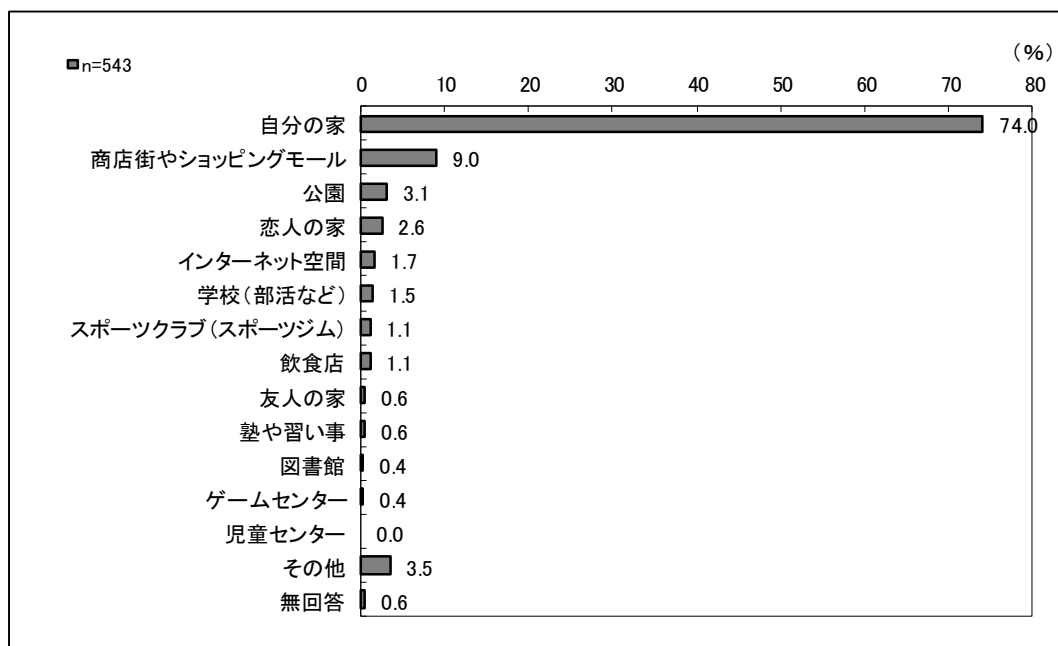
問 15 あなたは、休日はどこで過ごしますか。



「自分の家」(74.0%) が最も高い割合を占める。

「商店街やショッピングモール」(9.0%)、「公園」(3.1%)、「恋人の家」(2.6%)、「インターネット空間」(1.7%) 等がこれに続く。

■ 休日一番多く過ごす場所 ■



(16) 一番ほっとできる場所

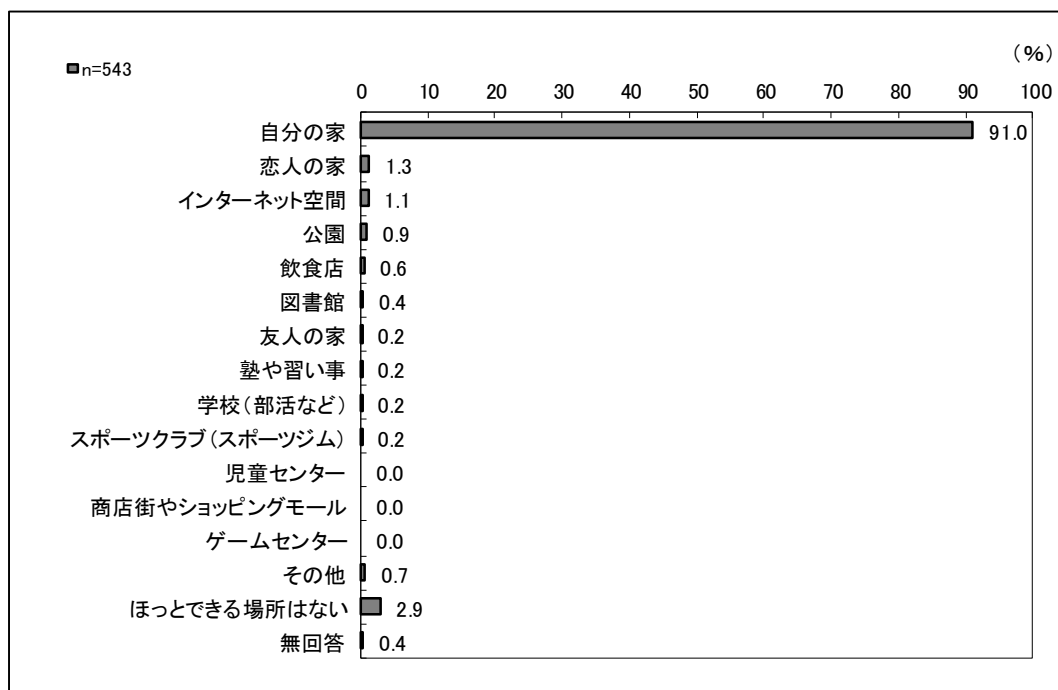
問 16 あなたが日頃過ごしている場所のうち、一番ほっとできる場所は以下のどれですか。



「自分の家」(91.0%) が最も高い割合を占める。

「恋人の家」(1.3%)、「インターネット空間」(1.1%)、「公園」(0.9%)、「飲食店」(0.6%)、「図書館」(0.4%) 等がこれに続く。

■一番ほっとできる場所■



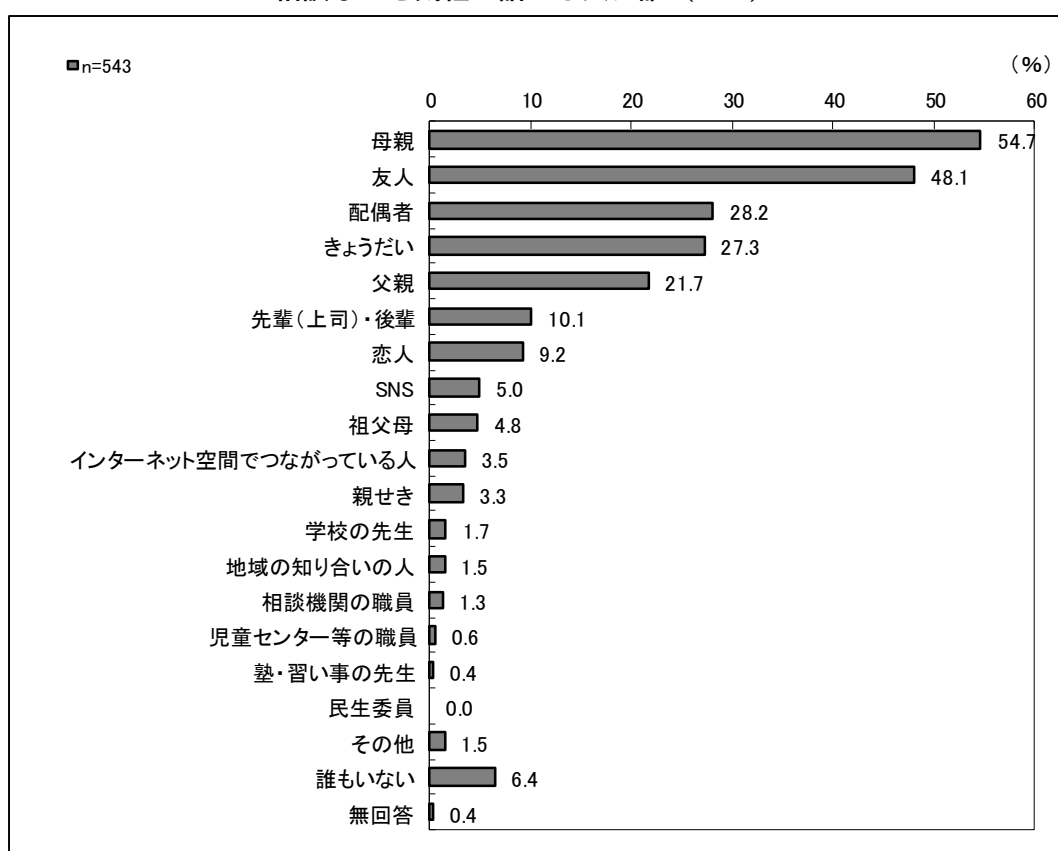
(17) 相談などを気軽に話せる人は誰（どこ）か

問 17 あなたは、何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる人がいますか。【複数回答】



「母親」(54.7%)、「友人」(48.1%)が高い割合を占める。
「配偶者」(28.2%)、「きょうだい」(27.3%)、「父親」(21.7%)、「先輩(上司)・後輩」(10.1%)、「恋人」(9.2%)等がこれに続く。
「誰もいない」は6.4%。

■相談などを気軽に話せる人は誰（どこ）か■



(18) 悩みがあるとき相談できる機関等を知っているか

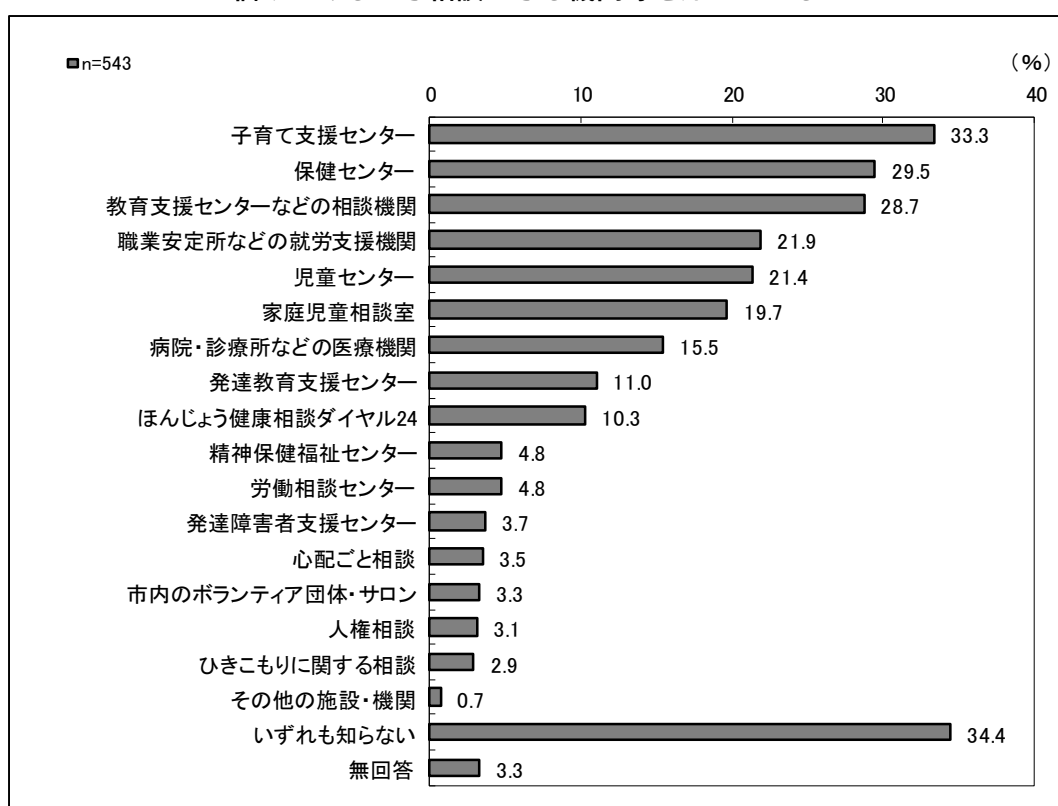
問 18 あなたは、悩みや聞いてほしいことがあったときに相談できる、次の機関等を知っていますか。【複数回答】



「いずれも知らない」(34.4%) が最も高い割合を占める。

「子育て支援センター」(33.3%)、「保健センター」(29.5%)、「教育支援センターなどの相談機関」(28.7%)、「職業安定所などの就労支援機関」(21.9%)、「児童センター」(21.4%)、「家庭児童相談室」(19.7%) 等がこれに続く。

■悩みがあるとき相談できる機関等を知っているか■



(19) 本人に当てはまること

問 19 次(1)～(10)のことは、あなた自身にどれくらい当てはまりますか。

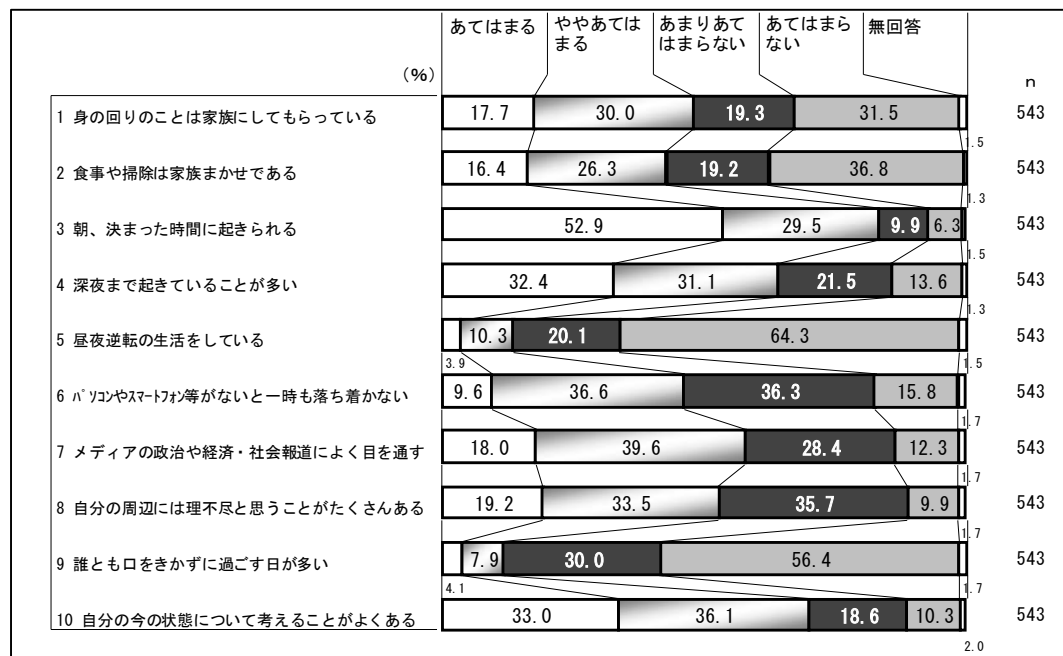


本人に当てはまることについては以下のとおり。

「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計が高い割合（上位3位）となったのは『朝、決まった時間に起きられる』（82.4%）、『自分のいまの状態について考えることがよくある』（69.1%）、『深夜まで起きていることが多い』（63.5%）。

一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計が高い割合（上位3位）となったのは『誰とも口をきかずに過ごす日が多い』（86.4%）、『昼夜逆転の生活をしている』（84.4%）、『食事や掃除は家族まかせである』（56.0%）。

■本人に当てはまること■

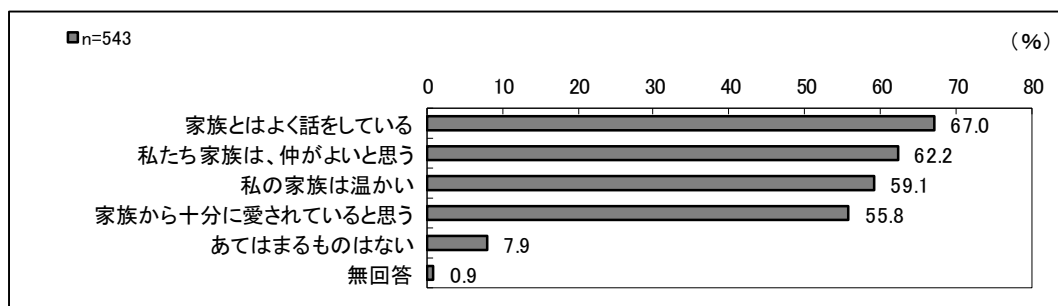


(20) 家族にあてはまること

問 20 次のうち、あなたの家族にあてはまるのはどれですか。【複数回答】

「家族とはよく話をしている」(67.0%)、「私たち家族は、仲がよいと思う」(62.2%)、「私の家族は温かい」(59.1%)、「家族から十分に愛されていると思う」(55.8%)、「あてはまるものはない」(7.9%)。

■家族にあてはまること■

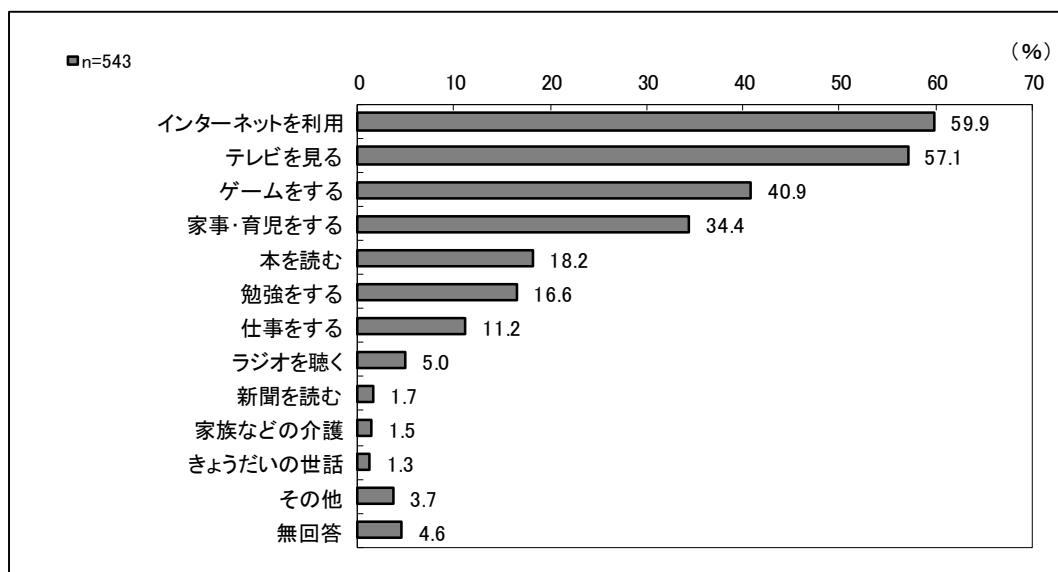


(21) ふだん自宅にいるときによくしていること

問 21 ふだん自宅にいるときに、よくしていることは何ですか。【複数回答】

「インターネットを利用」(59.9%)、「テレビを見る」(57.1%) が過半数を占める。
「ゲームをする」(40.9%)、「家事・育児をする」(34.4%)、「本を読む」(18.2%)、「勉強をする」(16.6%)、「仕事をする」(11.2%)、「ラジオを聴く」(5.0%) 等がこれに続く。

■ふだん自宅にいるときによくしていること■



(22) 授業や仕事以外でのインターネット利用_平日

問 22 あなたは、授業や仕事以外でインターネットをどれくらい利用していますか。

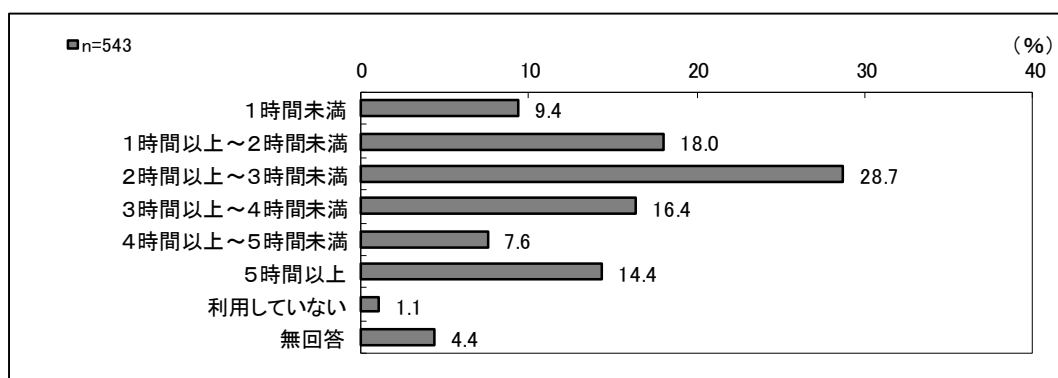
(1) 平日



「2 時間以上～3 時間未満」(28.7%) が最も高い割合を占める。

「1 時間以上～2 時間未満」(18.0%)、「3 時間以上～4 時間未満」(16.4%)、「5 時間以上」(14.4%)、「1 時間未満」(9.4%)、「4 時間以上～5 時間未満」(7.6%) 等がこれに続く。

■授業や仕事以外でのインターネット利用_平日■



(23) 授業や仕事以外でのインターネット利用_休日

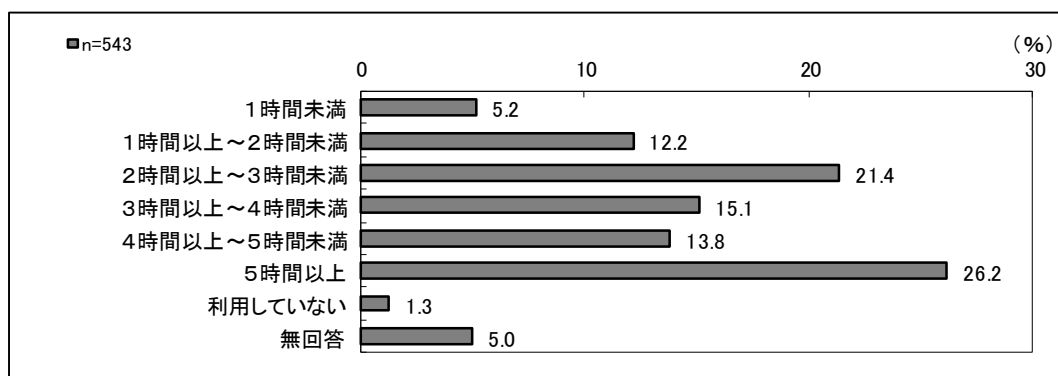
(2) 休日



「5 時間以上」(26.2%) が最も高い割合を占める。

「2 時間以上～3 時間未満」(21.4%)、「3 時間以上～4 時間未満」(15.1%)、「4 時間以上～5 時間未満」(13.8%)、「1 時間以上～2 時間未満」(12.2%)、「1 時間未満」(5.2%) 等がこれに続く。

■授業や仕事以外でのインターネット利用_休日■



(24) ふだん利用しているソーシャルメディアや通信手段など

問 23 次のソーシャルメディア・通信手段などで、ふだん利用しているものは何ですか。

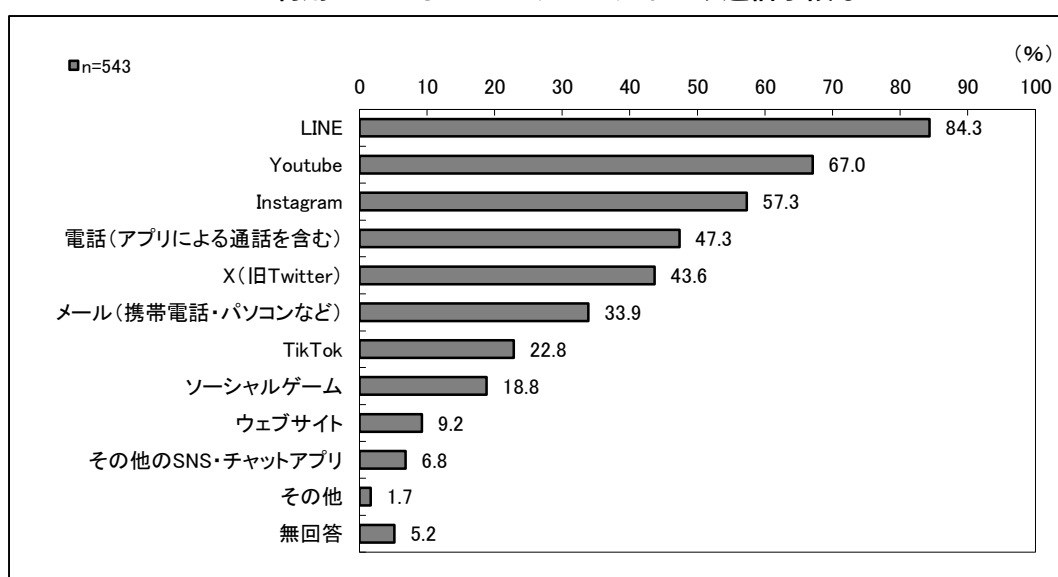
【複数回答】



「LINE」(84.3%) が最も高い割合を占める。

「Youtube」(67.0%)、「Instagram」(57.3%)、「電話(アプリによる通話を含む)」(47.3%)、「X(旧 Twitter)」(43.6%)、「メール(携帯電話・パソコンなど)」(33.9%)、「TikTok」(22.8%)、「ソーシャルゲーム」(18.8%) 等がこれに続く。

■ふだん利用しているソーシャルメディアや通信手段など■



(25) ふだんの外出状況であてはまるもの

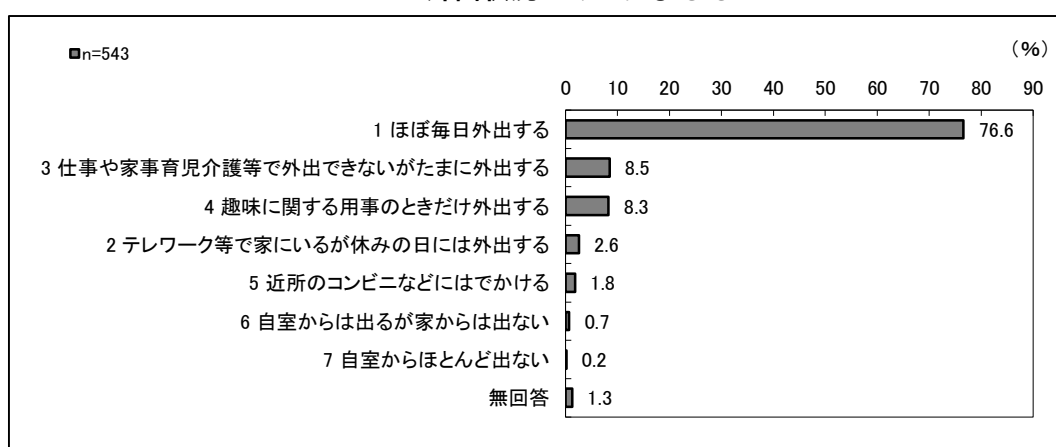
問 24 ふだんの外出状況であてはまるものはどれですか。



「ほぼ毎日外出する」(76.6%)が最も高い割合を占める。

「仕事や家事育児介護等で外出できないがたまに外出する」(8.5%)、「趣味に関する用事のと
きだけ外出する」(8.3%)、「テレワーク等で家にいるが休みの日には外出する」(2.6%)、「近所
のコンビニなどにはでかける」(1.8%)、「自室からは出るが家からは出ない」(0.7%)、「自室か
らほとんど出ない」(0.2%)がこれに続く。

■ふだんの外出状況であてはまるもの■



(26) その状態はどれくらい続いているか

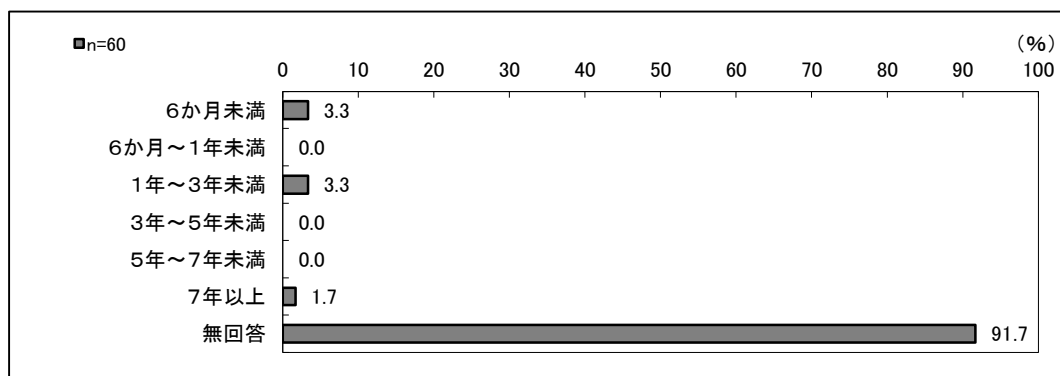
※ 問 24 で「4」～「7」に○をつけた方のみ

問 25 その状態はどれくらい続いていますか。



「6 か月未満」(3.3%)、「1 年～3 年未満」(3.3%)、「7 年以上」(1.7%)。【n=60】

■その状態はどれくらい続いているか■



(27) 現在の状態になったきっかけ

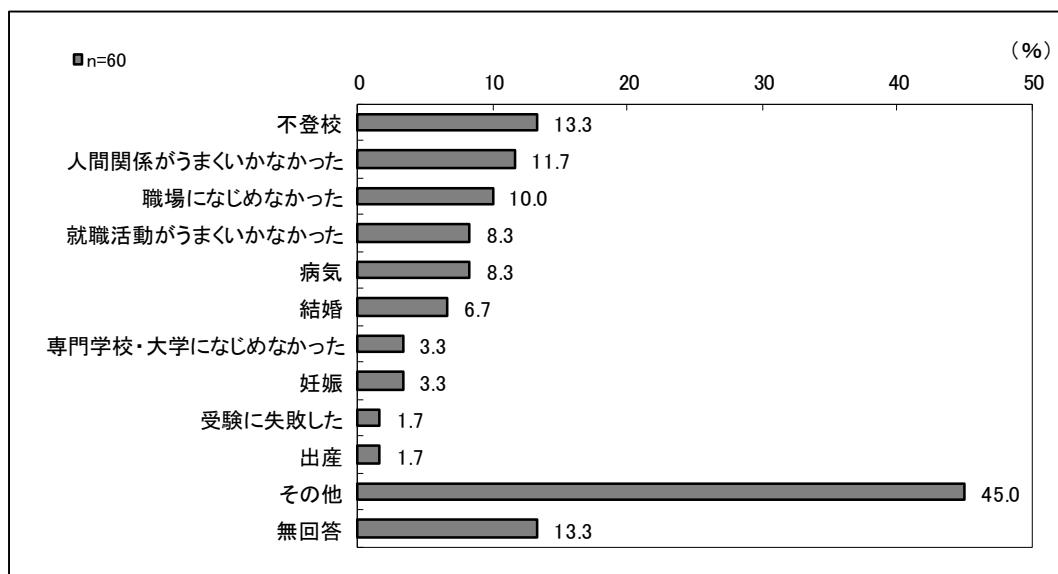
問 26 現在の状態になったきっかけは何ですか。



「その他」(45.0%)を除くと、「不登校」(13.3%)が最も高い割合を占める。

「人間関係がうまくいかなかった」(11.7%)、「職場になじめなかった」(10.0%)、「就職活動がうまくいかなかった」(8.3%)、「病気」(8.3%)、「結婚」(6.7%)等がこれに続く。【n=60】

■現在の状態になったきっかけ■



(28) 不登校になった時

※ 問 26 で「1. 不登校」に○をつけた方のみ

問 26-1 不登校になった時



「中学校」(62.5%)、「小学校」(25.0%)、「高校」(12.5%)。【n=8】

■不登校になった時■

(%)	小学校	中学校	高校	無回答	n
全体	25.0	62.5	12.5	0.0	8

(29) 受験に失敗した時

※ 問 26 で「3. 受験に失敗した」に○をつけた方のみ
問 26-2 受験に失敗した時



※回答者なし（無回答 1）

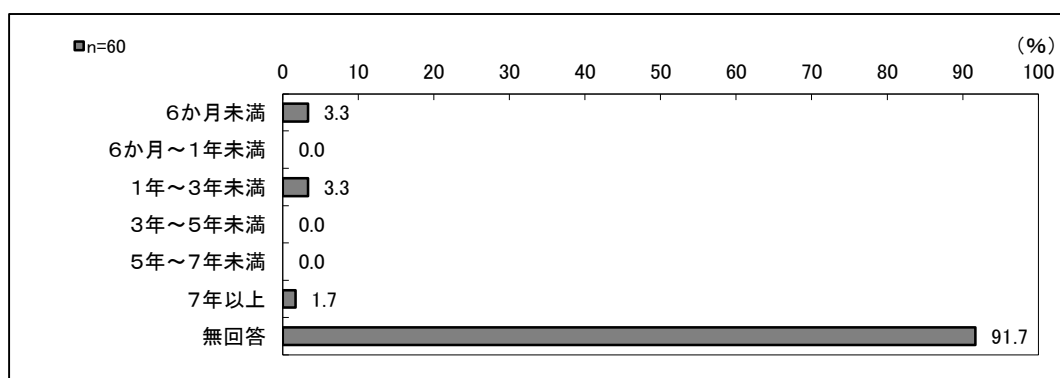
(30) 人間関係がうまくいかなかった相手

※ 問 26 で「6. 人間関係がうまくいかなかった」に○をつけた方のみ
問 26-3 人間関係がうまくいかなかった相手【複数回答】



「友人」(85.7%)、「学校の先生」(42.9%)、「家族」(28.6%)、「職場の人」(28.6%)、「その他の人」(28.6%)。【n=60】

■人間関係がうまくいかなかった相手■



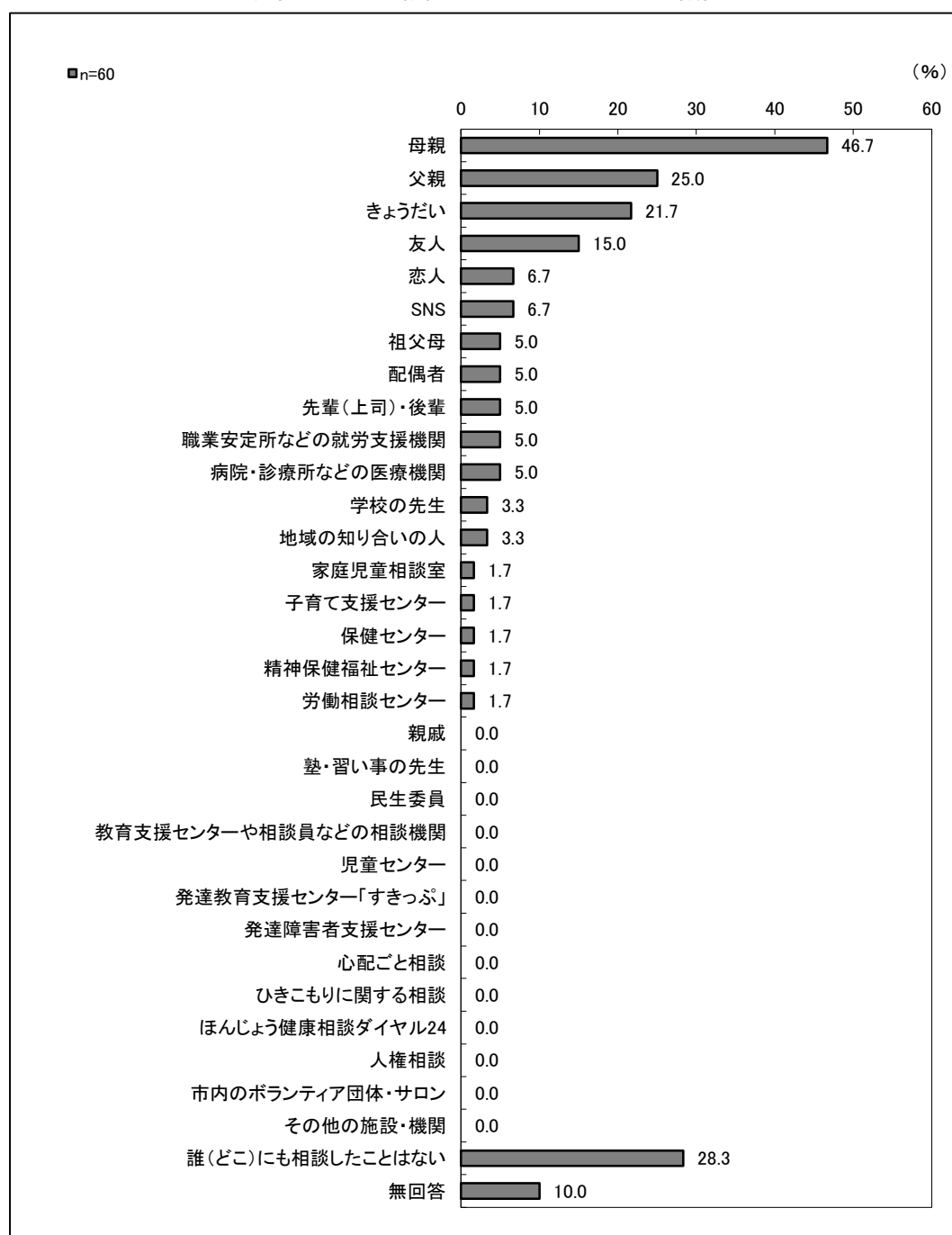
(31) 現状について相談したことがある人や機関

問 27 現在の状態について、次の人や機関に相談したことはありますか。【複数回答】

「母親」(46.7%) が最も高い割合を占める。

一方、「誰(どこ)にも相談したことはない」が 28.3% を占めており、「父親」(25.0%)、「きょうだい」(21.7%)、「友人」(15.0%)、「恋人」(6.7%)、「SNS」(6.7%) 等がこれに続く。【n=60】

■現状について相談したことがある人や機関■

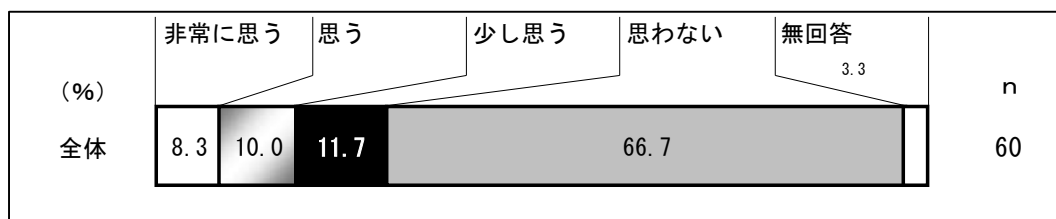


(32) 現状について誰かに相談したいと思うか

問 28 現在の状態について、誰かに相談したいと思いますか。

「思わない」(66.7%)、「少し思う」(11.7%)、「思う」(10.0%)、「非常に思う」(8.3%)。【n=60】

■現状について誰かに相談したいと思うか■



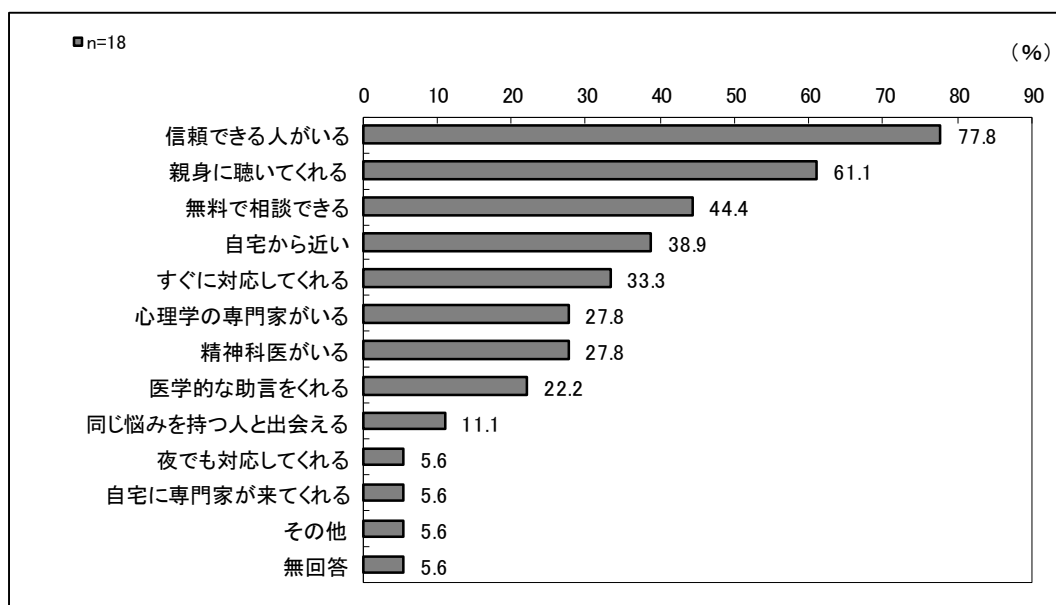
(33) どのような人・機関なら相談したいか

※ 問 28 で「1」～「3」に○をつけた方のみ

問 29 現在の状態について、どのような人・機関なら、相談したいと思いますか。【複数回答】

「信頼できる人がいる」(77.8%)、「親身に聴いてくれる」(61.1%) が過半数を占める。
「無料で相談できる」(44.4%)、「自宅から近い」(38.9%)、「すぐに対応してくれる」(33.3%)、
「心理学の専門家がいる」(27.8%)、「精神科医がいる」(27.8%)、「医学的な助言をくれる」
(22.2%) 等がこれに続く。【n=18】

■どのような人・機関なら相談したいか■



(34) 相談したくないと思う理由

※ 問 28 で「4. 思わない」に○をつけた方のみ

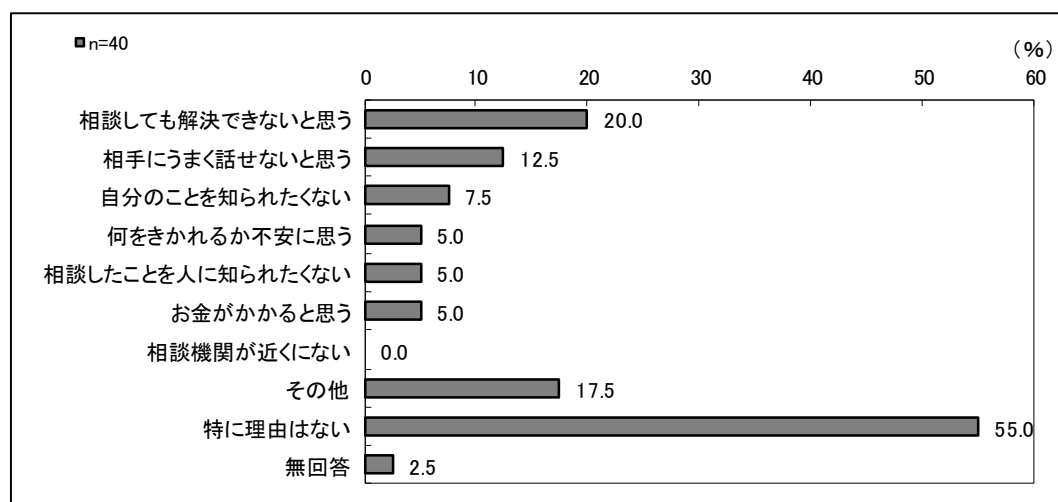
問 30 相談したくないと思う理由は何ですか。【複数回答】



「特に理由はない」(55.0%) が最も高い割合を占める。

「相談しても解決できないと思う」(20.0%)、「相手にうまく話せないと思う」(12.5%)、「自分のことを知られたくない」(7.5%) 等がこれに続く。【n=40】

■相談したくないと思う理由■



(35) 市が特に取り組むべきこと

問 31 子ども・若者が希望をもてる本庄市となるために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。【複数回答】



「年齢や経済的に心配せず学習・学び直しができる環境等の充実」(50.3%) が最も高く過半数を占める。

「就労に向けた相談やサポート体制の充実」(41.4%)、「若者たちが自主的に活動できる場所や機会の充実」(37.9%)、「気軽に悩みを相談できる場所や機会の充実」(32.2%)、「ニートや不登校等の子ども若者の支援の充実」(30.4%)、「児童虐待防止に向けた取組の強化」(29.8%)、「障害のある子ども若者の支援の充実」(27.3%)、「地域における見守りなど非行防止対策の充実」(22.3%)、「有害環境から青少年を守る取組の充実」(13.3%)、「その他」(9.2%)、「特にない」(10.3%) がこれに続く。

■市が特に取り組むべきこと■

